

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公表番号】特表2017-504570(P2017-504570A)

【公表日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2016-534640(P2016-534640)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	Z N A N
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	25/08	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/46	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

必要とするヒト対象においてタウオパチーを処置するための医薬組成物であって、該医薬組成物は固定用量の700mgの抗Tau抗体で該ヒト対象に投与され、該抗Tau抗体は免疫グロブリン軽鎖可変領域(VL)および免疫グロブリン重鎖可変領域(VH)を含み、

(a) 該VLはVL相補性決定領域(VL-CDR)を含み：

VL-CDR1は配列番号7に記載されるアミノ酸配列からなり；

VL-CDR2は配列番号8に記載されるアミノ酸配列からなり；

VL-CDR3は配列番号9に記載されるアミノ酸配列からなり；

(b) 該VHはVH-CDRを含み：

VH-CDR1は配列番号10に記載されるアミノ酸配列からなり；

VH-CDR2は配列番号11に記載されるアミノ酸配列からなり；

VH-CDR3は配列番号12に記載されるアミノ酸配列からなる医薬組成物。

【請求項 2】

抗Tau抗体がヒト対象に静脈内に投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

抗Tau抗体が4週毎に1回の固定用量の700mgでヒト対象に投与される、請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

タウオパチーが慢性タウオパチーである、請求項1から3のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 5】

慢性タウオパチーが、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症／パーキンソン型認知症複合、好銀顆粒性認知症、英國型アミロイド血管症、大脳アミロイド血管症、大脳皮質基底核変性症、クロイツフェルト・ヤコブ病、ボクサー認知症、石灰化を伴うびまん性神経原線維変化、ダウン症候群、前頭側頭骨性認知症(FTD)、17番染色体に関連するパーキンソン症状がみられる前頭側頭骨性認知症、前頭側頭葉変性症、ゲルストマン・シュトロイスラー・シャインカー病、ハラーフォルデン・シュパッツ疾患、封入体筋炎、多系統萎縮症、筋緊張性ジストロフィー、ニーマン・ピック病C型、神経原線維変化を伴う非グアマニアン(non-Guamanian)運動神経疾患、ピック病、脳炎後のパーキンソン症状、プリオントンパク質脳アミロイドアンギオパチー、進行性皮質下神経膠症、進行性核上非性麻痺、亜急性硬化性全脳炎、神経原線維変化型老年認知症、または多発梗塞性認知症である、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

慢性タウオパチーがアルツハイマー病である、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

慢性タウオパチーが進行性核上非性麻痺である、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

タウオパチーが急性タウオパチーである、請求項1から3のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 9】

急性タウオパチーが、卒中、慢性外傷性脳症、外傷性脳損傷、脳震盪、発作、癲癇または急性鉛毒性脳症である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

VHが配列番号37に記載されるアミノ酸配列からなり、VLが配列番号41に記載されるアミノ酸配列からなる、請求項1から9のいずれかに記載の医薬組成物。